



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda172 の2号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年12月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

2. 11月6日 “樹林公園 昆虫さがし・森あそび”の日がやってきました

樹林公園の森は今枯れ木対策で立入禁止が多く、どこでも入っていけるわけではありません。生き物さがしで森あそびするには、どうしたらいいか苦慮していました。

ところが、一部の草地が入れるようになっていて、そこに生き物たちが元気よく棲んでいました。昆虫達は適地を見つけて、この環境を乗り越えようとしているかのようです。またこの時期は、カツラの枯れ葉が甘い香りを放つ時期です。黄色く輝くカツラの木の周りで、素敵なおいに包まれました。子供たちはこの昆虫たちの生き方を見届け、自然を体感し生きていく力を感じ取ってくれるといいと思います。たくさんの収穫を得た観察会でした。



3. 今年の主な活動歴

28年を振り返ってみましょう。大変多くの方々にご協力いただきました。

- ☆ 日本自然保護協会のモニ1000調査、富沢湧水と大坂ふれあいの森の緑地と湧水の調査、
- ☆ 埼玉県の侵略的外来植物の調査
- ☆ 新任教員研修会やお茶の水女子大学地理学巡検の協力実施
- ☆ 第4小学校の学校応援団として、林間学校での自然観察学習会
- ☆ 中学高校生参加の夏休み里山保全ボランティア体験
- ☆ 新倉ふれあいの森、富沢湧水、大坂ふれあいの森や樹林公園など各地域の保全
- ☆ それぞれを活用した観察会、
タケノコ掘り体験、カタクリエコツアー、生き物観察会、昆虫さがし森あそびなど
- ☆ つつじ祭りや緑化祭りへのイベント参加、
- ☆ 樹林公園の指定管理者と朝霞県土との話し合いや引継ぎ、枯れ木対策への協力、
- ☆ 協働事業の和光市自然環境マップの作成。よりよいマップのために取り組んでいます。
- ☆ 市民新報への連載も継続しています。
- ☆ バス研修会では、県内の長瀬ライン下りと秩父ジオパークを訪ねました。

和光の緑地湧水地や河川の保全活動をしている40名の参加がありました。都市整備課の公園担当の林さんにもお出でいただき、新倉方面の公園の現状を伺いました。

自然環境マップは、学校での地域学習や環境学習に、市民には自然を知るきっかけとして役立つものです。発行を記念して「子供たち、多くの市民」と一緒に、「自然を学ぼう、親子の自然観察会」（大人も参加可）を、3月に開催したいと思います。来年度には学校や公共施設に配布し活用してもらうことが必定了。